

【基本的運営方針】 A 優れた作品の収集と保管

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
コレクションの活用状況	コレクションの稼働率	27.0%	35.0%	129.6%	a	<ul style="list-style-type: none"> 特別所蔵品展及び常設展において、当館所蔵作品686作品中240作品を展示し、展覧会内容に創意工夫を凝らしながら、効果的に活用した。 他の美術館からの依頼がなく、活用はなかったが、今後、他の美術館に対して、所蔵作品の活用について、PRの充実に努め、所蔵作品の活用を図っていく。
	所蔵作品を他の美術館企画展で活用					
コレクションの充実度	収集方針に基づき、主体性を持ち積極的に収集活動を行う				a	<ul style="list-style-type: none"> 購入作品7点(彫刻4点、絵画3点)及び受贈作品3点(彫刻1点、絵画1点、工芸1点)のいずれも収集方針に沿った優品であり、今後とも収集方針に沿った収集ができるよう作品の調査研究を継続する。
保管状況の適切さ	適正な保管環境を保持し、必要な調査に基づき措置を行う 計画的に所蔵作品の修復を行う				b	<ul style="list-style-type: none"> 収蔵庫の温湿度管理は適切に行い、適宜、収蔵作品の状態把握を行った。 収蔵作品の修復については、必要に応じ行っているが、今年度は早急に修復を必要とする作品はなかった。

【基本的運営方針】 Aの評価

評価	コメント(評価の考え方)
A	開館35周年を迎え、これまで収集してきたコレクションから選りすぐりの作品を展示した展覧会を開催するなど、コレクションを効果的に活用できたこと、作品収集においては、これまで継続して調査研究を行ってきた作品を購入と受贈で収集できたこと、また、適切な施設の維持管理により適切に作品の保存管理ができており、成果を十分に上げている。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 B 多彩で特色ある展示活動の充実

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
常設展示の充実度	常設展示観覧者数	12,000人	11,839人	98.7%	C	<ul style="list-style-type: none"> 立体作品を様々な方角から鑑賞できるように展示するなど、工夫を凝らした作品展示、配置により、満足度及びリピート率は指標値を達成できた。 特別展示の観覧者数が伸び悩んだことも影響し、観覧者数は若干、指標値には届かなかった。
	常設展示観覧者の満足度	87.0%	91.7%	105.4%		
	常設展示のリピート率	60.0%	68.3%	113.8%		
特別展示の充実度	特別展示の観覧者数	41,000人	34,889人	85.1%	C	<ul style="list-style-type: none"> 北海道初公開を多く含む作品借用展や身近な猫を題材にした展覧会の開催等により、満足度及びリピート率は指標値を達成できた。 特別所蔵品展の観覧者数が伸び悩み、観覧者数は若干、指標値には届かなかった。
	特別展示観覧者の満足度	92.0%	97.9%	106.4%		
	特別展示のリピート率	56.0%	71.3%	127.3%		
入館者の拡充	美術館の魅力を広め入館者増につながる取組の実施				b	<ul style="list-style-type: none"> 展覧会協賛事業を導入し、51の企業等から展覧会の観覧券購入と広報協力により、新たな入館者発掘に向けた取組を実施した。
展示の状況	展示のねらいが効果的に表現できているか				b	<ul style="list-style-type: none"> インテリアデザインの展覧会で、観覧者が実際の室内空間をイメージできるよう家具を配置した展示を行うなど、展示のねらいを意識し、工夫して展示した。
館外展示の充実度	移動美術館入場者満足度	設定なし	設定なし		b	<ul style="list-style-type: none"> 今後、アートギャラリー北海道の参加館等と連携を図り、館外展示の実施について検討を進めていく必要がある。
	その他の館外展示の状況					

【基本的運営方針】 Bの評価

評価	コメント(評価の考え方)
C	常設展示、特別展示ともに観覧者数は指標値に届かなかったが、充実した展示内容により満足度及びリピート率は指標値を達成することができたこと、入館者増加に向けた取組や展示のねらいに沿った展示等については、展覧会内容に応じて実施してきており、目標をほぼ達成することができた。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 C 豊かな人間性を育む学習の場と美術情報の提供

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
教育普及事業の充実度	教育普及プログラムの実施数	70回	68回	97.1%	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 展覧会の関連事業や解説を中心に計画的に実施した。また、教育大学と連携し、新たに大学教授等によるギャラリートークを実施するなど、内容の充実に努めたことにより、参加者数、満足度は指標値を達成することができた。
	教育普及プログラムの参加者数	2,400人	2,664人	111.0%		
	教育普及プログラムの満足度	80.0%	100.0%	125.0%		
	教育普及事業の状況					
美術情報提供の充実度	ARS、図書コーナーの利用者件数	680人	762人	112.1%	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 展覧会毎に、学芸員がケーブルテレビや地域FMに出演し、その魅力を発信しているほか、館長通信を発行するなど、積極的な情報発信に努めた。 ・ 今後も、メールマガジンの発行など情報発信の充実に向けた取組について検討し、積極的な情報発信に努めていく必要がある。 ・ 多くの来館者が利用できるよう、ロビー内の休憩コーナーに図書コーナーを設置しているが、満足度が指標値に届かなかったことから、今後、満足度の充実に向けた取組方策の検討が必要である。
	ARS、図書コーナーの利用者満足度	74.0%	72.7%	98.2%		
	多くの来館者が利用できる図書コーナーの環境整備・保持					
	HPアクセス件数	47,000件	48,006件	102.1%		
	メールマガジン等発行回数	実施なし	実施なし			
	ソーシャルメディアの投稿数	160回	178回	111.3%		
	情報発信の状況					

【基本的運営方針】 C の評価

評価	コメント(評価の考え方)
C	教育普及事業においては新たな取組を取り入れ内容の充実を図り、また、積極的な情報発信に努めたことにより、ほぼ目標を達成することができた。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 D 活動の基礎となる調査・研究の推進

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
調査・研究の充実度	学芸員による調査報告				b	<ul style="list-style-type: none"> 自主企画展「デンマーク・デザインの魅力ー織田コレクションと旭川」の開催を契機に、旭川のデザイン史や世界的椅子コレクションの地域との関連について、これまでの調査を踏まえ、新たに地域の関係者と連携して調査を深め、大きな成果を上げることができた。 旭川デザイン史及び織田コレクションの関係資料を多数収集した。また、平成28年度から継続の片岡球子スケッチ調査により、画像データを含む全スケッチブックの資料データを作成した。いずれも今後の調査研究・展覧会活動の基礎となる重要資料である。
	二次資料の状況					

【基本的運営方針】 Dの評価

評価	コメント(評価の考え方)
B	展覧会を契機としたデザイン史やコレクションの調査研究、資料収集、また、これまで継続している分野の資料収集、データ作成ができており、目標を達成することができた。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 E 地域文化の振興

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
地域の関係 機関との連携 状況	ボランティア団体等の主体的な事業の参加者数	実施なし	実施なし		b	<ul style="list-style-type: none"> ・教育大旭川校、上川管内中学校美術部との連携による鑑賞プログラムを実施したほか、展覧会協賛事業を導入し、地元企業・団体との協力体制の充実を図った。 ・旭川美術館ボランティア「常磐会」と意見交換の場を設け、情報共有するとともに要望等の聴取を行い、喫茶売店運営の配慮に努めた。今後、主体的な事業の実施等について、働きかけを行っていく必要がある。
	ボランティアが活動しやすい場の提供					
	地域と連携した取組の状況					
学校との連携 の状況	キャンパスパートナーシップのメンバー校数	2校	2校	100.0%	c	<ul style="list-style-type: none"> ・出張アート教室は、実施学校の学校規模、対象学年等により、参加者数は毎年、増減する状況にあるが、事前の打合せから当日の運営に至るまで、連携を密にしながら、2校で12点の作品を活用し、触って味わう授業を円滑に実施することができた。 ・指導者研修については、計画通り4回実施し、参加しやすい日程を設定したことで、指標値を達成できた。 ・大学、中学校美術部と連携した取組である「地域連携アートプロジェクト(大学生、中学校教諭と学芸員が協力して、ギャラリートークやワークショップを実施する鑑賞プログラム)」は5回実施できた。学校や学生の依頼による博物館実習、職場体験は希望がなかった。
	出張アート教室の延べ参加者数	90人	79人	87.8%		
	指導者研修の延べ参加者数	50人	50人	100.0%		
	学校教育活動への対応数	6件	5件	83.3%		
	参加者・利用者満足度					

【基本的運営方針】 Eの評価

評価	コメント(評価の考え方)
C	美術館運営に欠かせない喫茶売店を運営しているボランティア団体とは、情報共有、運営上の配慮を可能な限り行ったこと、地域や学校との連携についても、予算面や体制面で可能な限り行ったことで、概ね指標値を達成しており、目標はほぼ達成することができた。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 F 良好な滞在環境の提供

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
附帯施設の 充実度	レストラン・喫茶利用者の満足度	75.0%	62.0%	82.7%	c	<ul style="list-style-type: none"> ミュージアムショップ利用者満足度については、指標値を達成できているが、より満足度が高まるよう運営しているボランティアとアンケート意見等を情報共有しつつ、改善できるものは改善に努める。 喫茶売店で外国人来館者とスムーズに対応するため、指さし英会話集を作成し、運営しているボランティアと協力して、サービス向上に努めた。 喫茶利用者の満足度については、指標値には届かなかったことから、運営しているボランティアとアンケート意見等を情報共有しつつ、改善できるものは改善に努める。
	ミュージアムショップ利用者満足度	67.0%	67.0%	100.0%		
	事業者と協力してのサービス向上の実践					
館のホスピタリティ	館内スタッフの対応に関する利用者の満足度	87.0%	89.7%	103.1%	b	<ul style="list-style-type: none"> 指標値は達成できているが、より満足度が高まるよう職員等でアンケート意見等を情報共有しつつ、改善できるものは改善に努める。 喫茶売店で外国人来館者とスムーズに対応するため、指さし英会話集を作成し、ホスピタリティの向上に努めた。
	ホスピタリティ向上に向けた取組み					
施設環境の 保持	施設内外の環境への満足度	94.0%	96.5%	102.7%	c	<ul style="list-style-type: none"> 指標値は達成できているが、より満足度が高まるよう職員等でアンケート意見等を情報共有しつつ、改善できるものは改善に努める。 突発的に破損不具合が発生したが、展覧会に支障を来たさないよう計画的に必要な修繕等を行った。
	施設安全性保持のための必要な措置					

【基本的運営方針】 Fの評価

評価	コメント(評価の考え方)
C	利用者の声を把握するアンケートを展覧会毎に集約し、喫茶売店を運営するボランティアとも情報共有しており、概ね指標値を達成できたが、指標値を達成できていない項目を含め、より満足度の高い美術館となるよう、今後とも改善できるものから改善に努める。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E